

## 港町ミュージアム2 学習指導案

- 1 場所：教室
- 2 題材名：絵と話そう
- 3 題材について



抽象画は作品を見ただけでは作者が意図するテーマや心象風景が鑑賞者に伝わりにくい。そのため、鑑賞者はその作品をじっくり見て「何が描かれているのだろう」「どうしてこのような表し方がしてあるのだろう」と想像を広げる余地が大きいといえる。

山口長男「象形」は何本かの直線と一つの円、赤と黒の二色で描かれている。中学年の児童は大人が思いもつかないような柔軟な創造力で見立て遊びを楽しむことができる。そうした時期に「象形」を鑑賞することは、作品の形や色などから、児童のいろいろな感じ方や見方を引き出すことができると考える。

この作品の鑑賞では特に作品の色や形に視点を当てつつも、自分なりの見方や感じ方で作品を鑑賞する楽しさやそれを友だちと交流し合う楽しさを実感させたい。

- 4 学習目標
  - ・ 身近にある作品に関心をもつ。
  - ・ 作品を鑑賞して好きなところやおもしろいところを見付けたり、作品名を考えたりして、自分なりの感じ方や見方をする。
- 5 学習の展開

学習活動	指導上の留意事項( ) (「努力を要する」と判断した児童への指導の手だて)	評価規準 (評価方法)	準備物等
1 前時に描いた手のクローキーの作品集を鑑賞する。 ・ 友だちが描いた絵を鑑賞して、いろいろな見方や感じ方があることを知る。	自由な感じ方で鑑賞ができる雰囲気を作る。		児童作品集
2 山口長男「象形」を鑑賞する。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">絵とお話しよう。</span> ・ 学習カードに記入する。(記入できる項目のみ) 何に見えるか 自分が考えた作品名 使っている色や形 好きな色に塗る この絵の好きなところ 気に入ったところ	児童が関心をもって見ることができるよう作品の提示方法を工夫する。(作品を90度ずつ回転させながらどれが定位置か考えさせる) ◆ 発想が浮かびにくい児童には比較的考えやすいと思われる視点(形・色)で鑑賞するように助言する。「丸い色は何か」「角々しているところは何に見える」「黒いところはどうして黒く塗っているのかな」等)	作品の色や形に関心をもって見る。[造形への関心・意欲・態度](行動観察)(学習カード) 自分なりの見方で作品を鑑賞し感じたことや思ったことを言葉で書く。[鑑賞の能力](学習カード)(発表)	「象形」複製学習カード
3 鑑賞したことを友だちと話し合う。	作品名、色、形など鑑賞の視点ごとに意見を出しあい、友だちと自分の感じ方や見方を比べる。美術館のワークシートを配り、作品についての理解を深めさせる。	友だちと話し合いながら、いろいろな感じ方や見方があることを知る。[鑑賞の能力](発表)(行動観察)	美術館ワークシート「象形」
4 本時のまとめをする。次時の学習内容を知る。	本時の学習を振り返らせる。 次時は好きな作品を選んで作品カードをつくること、さらに作ったカードをもとにクイズをする予定であることを知らせて期待感を持たせる。	作品を見ることや友達との話し合いを楽しんだ。 [鑑賞の能力](自己評価カード)	

# 見よう！感じよう！

～すてきなアート～

Part2

年 組 [

## 絵と話しよう！

この絵に名前をつけるとしたら？

どんな色や形を見つけた？

山口長男  
「象形」

何に見える？

まねしたいところは？

この絵の好きなところは？

好きな色にぬってごらん！

と直線だけで絵を描いてみよう！

今日の学習をふり返って

とても楽しかった

楽しかった

あまり楽しくなかった

楽しくなかった

先生から



A large empty rectangular box for writing a message from the teacher.